

令和2年第12回教育委員会定例会

新 十 津 川 町 教 育 委 員 会 会 議 録

令和2年12月17日 開会

令和2年12月17日 閉会

新 十 津 川 町 教 育 委 員 会

令和2年第12回教育委員会定例会

令和2年12月17日（木）
午後4時00分 開会

○ 議事日程

- 1 開会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 行事報告
- 4 報告事項
報告第48号 令和2年度町内小中学校在籍児童生徒数（令和2年12月分）について
- 5 その他
- 6 閉会

○ 出席委員（5名）

久保田 純 史
新 田 右 子
荒 山 直 人
近 藤 陽 介
松 倉 寿 人

○ 欠席委員（0名）

○ 職務のため出席した者の氏名

事務局長	後 木 満 男
主幹	媚 山 孝 裕
学校教育グループ長	西 村 幸 真

○ 開会及び開議の宣告

◎久保田教育長

ただいまより、令和2年第12回教育委員会定例会を開会いたします。

○ 議事日程の報告

◎久保田教育長

本日の日程は、お手元に配布しております議事日程により順を追って進めてまいります。

○ 会議録署名委員の指名

◎久保田教育長

日程第2、会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員の指名につきましては、新田、近藤両委員を指名いたします。

○ 諸般の報告

◎久保田教育長

続きまして、日程第3、行事報告を議題といたします。事務局より報告願います。

◎媚山主幹

それでは、お手元の行事報告の資料に基づいて、令和2年11月27日から本日12月17日までの行事をまとめておりますので主な行事についてご説明申し上げます。まず12月5日、そっち岳スキー場安全祈願祭が新十津川スキー連盟主催でそっち岳スキー場ロッジにて開催されました。コロナ感染の予防対策を取りながら久保田教育長はじめ、関係者約20名が出席し安全を祈願いたしました。続きまして、12月10日、そっち岳スキー場が17時ナイターでオープンいたしました。予定日どおりのオープンは平成29年以来で、初日約70名が来場いたしました。続きまして、12月12日、13日、土日ですが、小学校のスキー教室が開催されました。小学生26人、特別支援学級2年生1人、合わせまして27人が参加しております。スキー連盟の指導員13人から指導いただき、全員がリフトをうまく乗れ、滑りも上達したところがございます。続きまして、資料にはございませんが、小学4年生54人を対象に10月29日から12月1日の間、計4回に分けて総合学習が行われております。この学習は、一般社団法人風の美術館のスタッフによる授業で、芸術を学ぶ機会として、「新十津川の自然の生き物を作ろう」というテーマに基づきましてノコギリやトンカチなどを使い、木材で熊や馬やキツネなどを作成いたしました。最終日の12月1日にはグループごとに発表を行い、苦労したところ、工夫したところなど、感想を発表しあいました。以上、行事報告とさせていただきます。

◎久保田教育長

行事報告の説明が終わりました。質疑はございませんか。

(「なし」という声あり。)

◎久保田教育長

それでは、行事報告を報告済みといたします。続きまして、日程第4、報告事項を議題といたします。報告第48号令和2年度町内小中学校在籍児童生徒数(令和2年12月分)について事務局より説明願います。

◎後木事務局長

それでは、議案書3ページをお開きください。下の表をご覧ください。小学校1年生女子が1名減、小学校3年生男子が1名減、小学校5年生女子が1名減となっております。3名減ということで、小学校全体では男子が1人減の136人、女子が2人減の167人で合計303人となっております。この3名につきましては兄弟で蘭越町に転出されております。中学校につきましては異動はなく、小中学校合わせまして3人減少の464人となっております。なお、小中学校とも特別支援学級に変更はございません。以上、報告第48号の説明とさせていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

◎久保田教育長

報告第48号の説明が終わりました。質疑はございませんか。

(「なし」という声あり。)

◎久保田教育長

それでは、報告第48号は報告のとおり了承することでご異議ありませんか。

(「異議なし」という声あり。)

◎久保田教育長

異議なしと認めます。したがって、報告第48号令和2年度町内小中学校在籍児童生徒数(令和2年12月分)については報告のとおり了承されました。

◎久保田教育長

続きまして、日程の第5、その他を議題といたします。事務局より提案ありますか。

◎後木事務局長

私から1点説明をさせていただきます。先月の第11回の教育委員会の定例会において、教育行政事務の管理執行状況点検・評価報告の説明をさせていただき、その中の質疑において、近藤委員より給食の指標として、給食を残さないでどれだけ食べているかということも指標の1つになるのではないかというご意見をいただきました。それで、私から、給食センターで残食量の調査はしているの、後日その報告をさせていただきたいという回答をさせていただきました。先般、給食センターに確認をいたしましたのでその内容について説明をさせていただきます。過去の給食の残量調査を確認しましたところ、平成26年までは毎年新小において調査を行ってまいりました。調査の内容は、2日間がご飯のメニュー、1日はパンのメニューということで3日間の調査を毎年2月に実施してまいりました。平成26年までの残食率ですが、概ね4%から10%の間で推移している形で、年度によりばらつきがあるという結果でございました。平成27年からは隔年調査であります北海道教育委員会の学校給食の栄養管理に関する調査というのがございまして、その中の調査項目の1つとして、残食調査を行ってまいります。11月から12月にかけて小学校の3、4年生と中学生で残食量調査を5日間実施してまいります。平成27年の調査においては、残食率が8.2%、このときの全国の残食率が10.4%でしたので、本町は下回っていたという形です。その後、隔年ですので平成29年の調査が10.7%でありました。

平成29年度から全国の残食率が公表されておられませんので、平成27年の全国の残食率10.4%と比較すると、全国とほぼ同じ率かと考えております。その後、平成29年度以降ですけれども、北海道教育委員会の学校給食の栄養管理に関する調査において残食量調査が行われておりません。ですので、1番新しいもので平成29年度の調査となります。

給食につきましては、提供するメニューによってかなり残食量が変化いたします。このことから、残食の量を事業の指標とするということにつきましては、課題もあるのかと考えております。残食量調査を行う場合には、児童生徒に給食に対する意識調査も一緒にやらなければならないということで、給食の提供の量ですとかメニューの内容、食材、児童生徒の好き嫌い、配膳方法ですとか給食の時間なども影響しますので、その辺との関連性を細かく分析しながら給食の改善や給食の指導につなげていくことが重要かと思っています。いずれにいたしましても、今後の残食量調査の実施、また事業指標についての取扱いにつきましては、栄養教諭等と相談しながら検討していきたいと考えております。以上、先月のご意見についての報告とさせていただきたいと思っております。

よろしく願いいたします。

◎久保田教育長

今ほど給食の残食、残量の報告がございましたが、この件について質疑ございますか。

(「なし」という声あり。)

◎久保田教育長

はい、分かりました。そのほか、事務局からありますか。

◎後木事務局長

ありません。

◎久保田教育長

なお、ただ今、定例議会が開会しておりますが、今回については教育関係の一般質問はございませんでしたし、先月の定例教育委員会で報告いたしました教育行政事務の管理執行状況点検・評価報告についても議会に報告をし、質疑なしで報告済みになっております。それでは、以上をもちまして、令和2年第12回教育委員会定例会を閉会したいと思います。今年1年、本当に大変お世話になりました。私を含め教育委員会職員一同感謝とお礼を申し上げますし、町長からも、学校行事等なかなか今年は出席できない折において教育委員さんともなかなかお会いする機会がなく、1年間の教育委員さんの御労苦に感謝を伝達していただきたいということで伝言承っていることを報告申し上げ、閉会させていただきます。1年間お世話になりました。

(閉会 午後4時30分)

会議の顛末を記載し、その旨相違なきことを証するためにここに署名する。

会議録署名委員 新 田 右 子

会議録署名委員 近 藤 陽 介